
アカイキミ

乃亞

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アカイキミ

【Nコード】

N2098B

【作者名】

乃亞

【あらすじ】

女の子の幸せが一気に崩れます。恋愛…なのかな（――；）この作品ちよっとダメですね。笑

あの日の私は いつになく輝いていて
お気に入りの靴を履き
新しい服を着て

出掛けた

君の所へ

世界が光で満ちていた

綺麗に澄んだ青い空
爽やかな風
道端には咲き誇るたんぽぽ

そして隣には君がいる

隣に君がいる幸せ

それは止まることなく
歩み続ける
想い 想われ

永久だと思い込んでいた

思いたかった

永久なんて 有り得ない

その時そこに在ったものもあの時在った人も
いつかは朽ちるんだ

暗く重く曇った空

風わ ない

道端には踏み潰されたたんぽぽ

隣には君がいる

なのに：

『どうして赤いの？』

『どうして冷たいの？』

『どうして動かないの？』

『どうして手を握ってくれないの？』

『どうしてキスをしてくれないの？』

『どうして私を見てくれないの？』

返事はない

嫌だ

嫌だよ

汚い

汚い
汚い
汚い
汚い

赤が目には焼き付く

冷たい手の感触が残る

天からの水が

赤を流す

風邪ひくよ？

私は動かない君の上に青い水玉の折り畳み傘を差す

私が君にもらった傘

『ずっと使ってるよ』

『君に使ってあげるのは初めてだね』

『この傘お気に入りなんだ』

『ねえ』

『聞ってる？』

声が震える

君の目が謝った気がした

『いいよ』

って笑おうと思ったけど
うまく声が出せない

景色が霞む

なのに赤だけは鮮明で

世界に光が見えない

見えるのは 闇の中の君だけ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2098b/>

アカイキミ

2010年10月11日02時37分発行